

2022年度  
名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻  
博士前期課程 建築学コース  
入学試験問題

**専 門 科 目 I (計画系・設計製図)**

**【 設 計 製 図 】**

**一般選抜 (普通入試)  
社会人特別選抜**

令和3(2021)年8月17日(火) 14:40~18:40

受験番号	
------	--

注意事項

- 1) 本冊子は、専門科目 I (計画系・設計製図) のうち、設計製図の問題である。問題はこの表紙および白紙1枚と、問題3枚の計5枚からなる。試験開始後、直ちに枚数を確認し、過不足がある場合は申し出ること。
- 2) 本冊子のホチキス止めを外さないこと。
- 3) 試験開始後、本冊子の表紙に受験番号を記入すること。
- 4) 本冊子の他に、答案図面用紙(ケント紙)1枚、エスキス用紙(トレーシングペーパー)1枚、受験番号シールが配布される。
- 5) 試験終了後、答案図面用紙の裏面右上に受験番号シールを貼ること。
- 6) 答案は日本語で解答すること。
- 7) 試験終了の合図があったら、答案図面用紙、エスキス用紙、本冊子を製図板の上に置き、試験監督者の指示に従って退室すること。



## 設計製図

課題：在宅勤務が可能な戸建て住宅

### I. 設計主旨

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的拡大は、建築のあり方を大きく問い直す契機にもなっている。住宅に関しては、インターネット通信や情報処理技術を活用して、在宅での勤務や学習が行われるようになった。つまり、すまいが仕事の場になり、学びの場になった。

そのようなコロナ禍に、夫婦（ともに30代）とこども一人（6歳）の家族から、戸建て住宅の設計を依頼された。この夫婦は異なる建築設計事務所に勤務しているが、それぞれの事務所はコロナ禍においてだけでなく、コロナ後も平日の在宅勤務を一定日数、認める方針である。この夫婦も高齢の両親が近居しているため、在宅勤務と事務所での勤務を両立させたいと考えている。しかし、現在のすまいには次のような問題を感じている。

- ① 現在の住宅（集合住宅の80㎡の一室）では、それぞれが在宅勤務ができる場所を寝室や居間などに確保しなくてはならない。
- ② 設計業務を行うのに十分なスペースが確保しづらい。
- ③ 家族3人が一緒に居る時間が長くなり、気分転換や自分の時間、場所を持ちづらい。

そこで、①～③をふまえて、この夫婦のために在宅勤務ができる2階建ての戸建て住宅を提案しなさい。

### II. 敷地

平坦な対象敷地と周辺の詳細については、別紙を参照すること。なお、都市計画法上の用途地域は第一種住居専用地域（建ぺい率60%、容積率200%）である。

### III. 設計条件

(1)住宅の延床面積は150㎡程度までとする。

屋上空間や屋根または庇の下の半屋外空間について、滞在利用ができるように設計した場合はこの面積に含む。ただし、後述する駐車場はそれに含まない。

(2) 次の部屋や場所を用意すること。各室の面積は指定がなければ適切に設定すること。

なお将来、近居の両親をこの住宅で介護することは想定しない。

- ・夫婦寝室とこどもの寝室：それぞれ1室、クローゼット造り付け。
- ・来客が泊まれる和室（8畳）：押入付きで1室。
- ・在宅勤務のための小部屋、もしくはコーナー：夫婦それぞれに1つ確保。
- ・住宅として必要となる空間、機能：台所、食事室、便所、風呂、収納等。
- ・この他、Iで説明したような、この家族が現在の住まいに対して感じている問題点①～③の解決に必要な空間、機能。

(3) 自家用車1台分の駐車場。なお、駐車場への入口として、歩道に1箇所だけ乗り入れを設けてよい。

(4) 外構や屋外空間については、緑化とともに日常的な利用も想定すること。

#### IV. 必要図面

(1) 配置図兼1階平面図 (S=1/50) :

北を上にして描き、外構や家具、室名、重要な寸法を記入すること。なお、敷地周辺は描く必要はない。

(2) 2階平面図 (S=1/50) :

北を上にして描き、家具や室名、重要な寸法を記入すること。

(3) 南北方向の断面図 (S=1/50) :

家具や室名、植栽、重要な寸法を記入すること。

(4) 南立面図 (S=1/50) :

前面道路に対する立面図を描き、植栽も記入すること。

(5) 内観透視図 :

提案上、最も重要な場所を描くこと。

(6) タイトル、設計要旨および概念図、面積表 :

提案にタイトルを付けて、200字程度で説明する。またその説明をわかりやすく伝えるための概念図を描くこと。

面積表には各階の面積を示すこと。

以上

